

長瀬産業株式会社

証券コード 8012

これからも、
じぶんらしく。
じぶんらしくなく。

第110期

中間株主通信

2024.4.1 — 2024.9.30



NAGASE

Delivering next.

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。第110期上期(2024年4月1日から9月30日まで)の経営成績がまとまりましたので、ここにご報告申し上げます。今後も引き続きご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

代表取締役社長

上島 宏之



上期の振り返り

2024年度第2四半期の売上総利益は、第2四半期累計として過去最高となる921億円となり、ROIC経営の追求により収益性が向上したことで売上総利益率は前年同期の17.5%から19.2%に改善しました。

商社業・製造業の業態別にみると、売上総利益は両業態ともに増益となりました。商社業では、半導体および電機・電子業界等の緩やかな回復により、機能素材、加工材料、電子・エネルギーセグメントが好調に推移し、約74億円増の537億円となりました。製造業では、生活関連セグメントにおいて米国Prinovaグループの食品素材販売が増加した一方で、ナガセヴィータの香粧品向け機能性素材の最終消費地である中国の需要低迷を受けて販売が減少しました。また、機能素材セグメントではカラーフォーマー事業の損失を削減したほか、電子・エネルギーセグメントにおいて、生成AI市場の成長によりハイエンドサーバー用半導体

向けのナガセケムテックスの変性エポキシ樹脂の販売が想定以上に増加した結果、約59億円増の384億円となりました。セグメント別では、生活関連、機能素材、電子・エネルギーセグメントが大きく伸びました。詳細は3ページの決算ハイライトに記載しております。

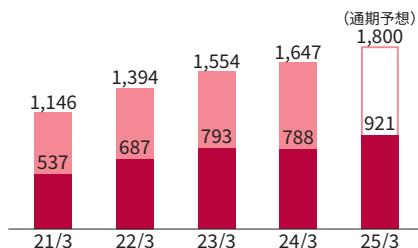
所在地別にみると売上総利益は国内海外ともに増益となりました。国内では、主に半導体業界向けの原材料や変性エポキシ樹脂の販売の増加により増益となりました。海外では、円安による影響に加えて、主に欧米における食品素材販売やアセアンにおける樹脂販売の増加により増益となりました。

その結果、国内の売上総利益は、408億円、海外は512億円となり、全体で921億円(前年同期比+16.8%)、営業利益は、210億円(同+45.4%)、経常利益は202億円(同+42.5%)、親会社株主に帰属する中間純利益は159億円(同+55.9%)となりました。

業績レビュー

売上総利益 (億円)

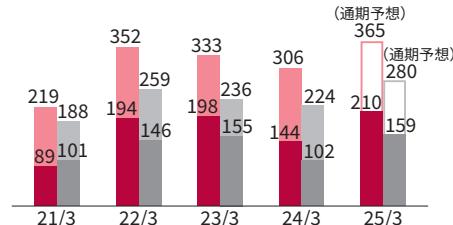
■ 上期 ■ 下期



営業利益・純利益 (億円)

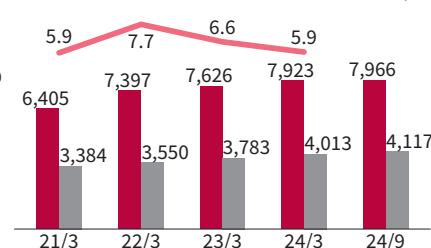
営業利益 ■ 上期 ■ 下期

親会社株主に帰属する中間(当期)純利益 ■ 上期 ■ 下期



総資産・純資産 (億円)

■ 総資産 ■ 純資産 ■ 自己資本当期純利益率(ROE)(%)



2025年3月期の見通し

通期の業績見通しは期初公表の数値を据え置いており、営業利益、当期純利益において過去最高益を見込んでおりますが、セグメント別業績について見通しを修正しており、機能素材、加工材料、電子・エネルギー、モビリティセグメントを上方修正し、生活関連セグメントを下方修正しております。

機能素材セグメントにおいては、塗料原料、半導体業界向けの原料販売の増加に加え、カラーフォーマー事業の損益改善が想定以上に進んでおります。加工材料セグメントでは、主にOA等の電機・電子業界向けの想定以上の需要回復を受け、樹脂販売が堅調に推移しております。電子・エネルギーセグメントは、半導体業界向け材料販売が好調に推移していることに加え、ナガセケムテックスのハイエンドサーバー用半導体向けの変性エポキシ樹脂の販売が想定以上に好調に推移しております。モビリティセグメントでは、自動車生産台数の減少はあるものの、市況の上昇を受けた収益性の改善に加え、機能素材・機能部品の販売が好調となっております。生活関連セグメントでは、Prinovaグループの食品素材販売は堅調に推移している一方で、特定顧客の債権回収懸念による貸倒引当金の計上や、人件費等の一般管理費の増加により製造業が想定以上に不調に推移しているため下方修正しております。

このような状況を踏まえ、売上総利益は1,800億円(前期比+9.3%)、営業利益は、365億円(同+19.2%)、経常利益は、352億円(同+15.1%)、親会社株主に帰属する当期純利益は、280億円(同+25.0%)を見込んでおります。

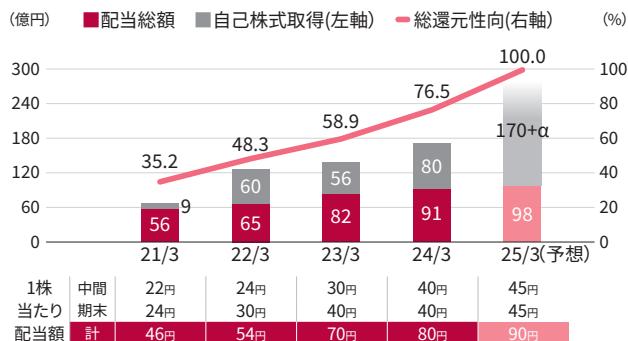
株主還元

当社は、中期経営計画 **ACE 2.0** (以下**ACE 2.0**) において成長戦略と資本効率性を意識することでROE8.0%以上を目指しております。資本効率性の向上

について、**ACE 2.0**の最終年度である2025年度までの2年間の限定措置として総還元性向100%を掲げ、継続増配に加えて、機動的に自己株式取得を実施する方針としております。

上記の方針のもと、2024年5月8日開催の取締役会にて決議した100億円を上限とした自己株式の取得は10月に完了しておりますが、2024年11月6日開催の取締役会にて70億円を上限とした自己株式の取得を決議いたしました。また、配当については、中間配当を直近の配当予想より5円増配し、1株当たり45円に決定いたしました。期末配当予想は従来通り1株当たり45円を予定しており、年間配当予想は、前回予想から5円増配の90円となります。今後も収益率の向上に加え、資本効率性を高めることで、企業価値の向上に努めてまいります。

株主還元状況



ACE 2.0の詳細については当社ホームページに掲載の2025年3月期第2四半期決算説明会資料に記載しておりますので、是非ご一読ください。



[https://www.nagase.co.jp/ir/library/
results-briefing/](https://www.nagase.co.jp/ir/library/results-briefing/)



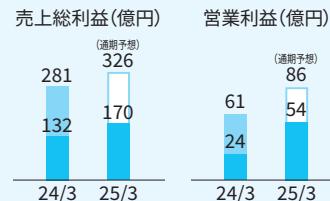
■ ■ ■ ■ ■ 上期 ■ ■ ■ ■ ■ 下期



機能素材セグメント

上期の状況

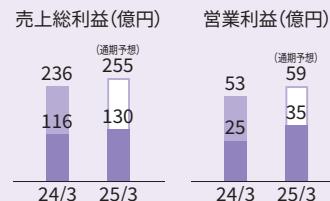
- 塗料原料の販売は自動車用・建築用ともに横ばいだったが市況の上昇により増加
- 半導体材料の原料販売が増加
- カラーフォーマー事業は米国での生産停止に加え、日本の製造拠点の事業整理や効率化により損失削減



加工材料セグメント

上期の状況

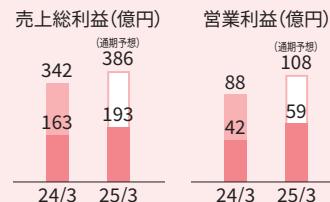
- 樹脂の販売はOA等の電機・電子業界向けの需要回復を受けて増加
- 製造業は東拓工業の工業用ホース・土木用パイプの販売が増加



電子・エネルギーセグメント

上期の状況

- 半導体材料の販売は市況の緩やかな回復を受け増加
- 変性エポキシ樹脂の販売は、生成AI市場の旺盛な需要を受けハイエンドサーバー用半導体向けが好調に推移し、増加
- ハイエンドのスマホ・タブレット等の電子デバイス向けの材料販売は需要回復を受け増加



モビリティセグメント

上期の状況

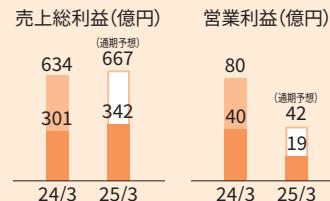
- 売上総利益の約半分を占める樹脂の販売は、自動車生産台数の減少があったものの、円安や市況上昇等の影響により増加
- 内外装・電動化用途の機能素材・機能部品の販売が増加



生活関連セグメント

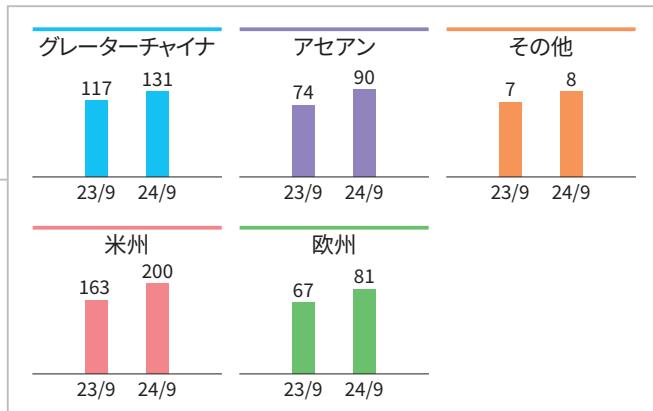
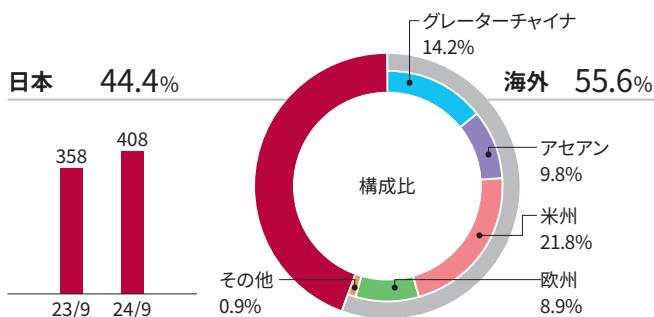
上期の状況

- ナガセヴィータは香粧品素材の販売が海外向けの不調により減少したものの、食品素材の販売が好調に推移し全体として販売が増加
- 中間体・医薬品原料の販売が増加
- Prinovaグループは食品素材販売の増加に加え、市況が下落していた前年同期と比べて売上総利益率が向上
- 営業利益は、売上総利益が増加したものの、Prinovaグループの貸倒引当金の計上や人件費増加による一般管理費増加等により、減益



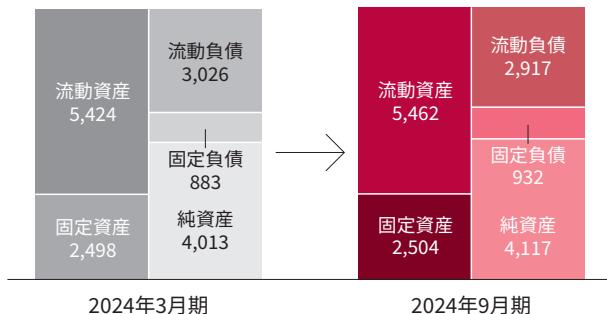
※2025年3月期より、従来「その他」に含めていた全社共通経費の一部を各報告セグメントに配賦しております。なお、上表の2024年3月期のセグメント情報につきましては、変更後の配賦方法により作成したものを記載しております。

所在地別売上総利益構成比 (億円)

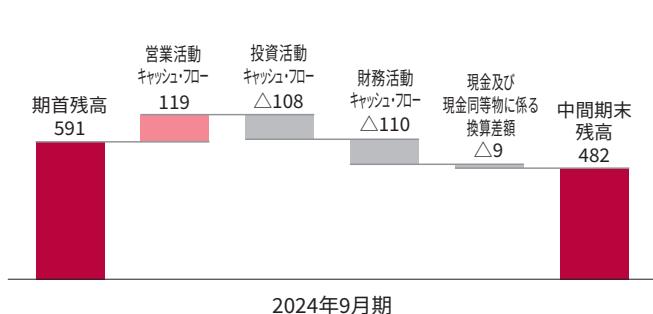


連結財務諸表サマリー (億円)

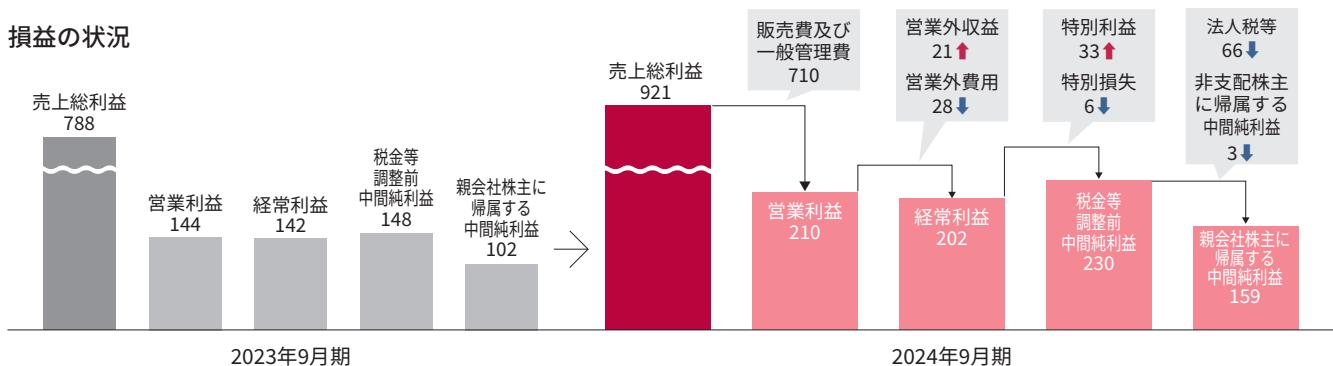
資産・負債・純資産の状況



キャッシュ・フローの状況



損益の状況



第3回NAGASEカップ陸上競技大会 を国立競技場で開催



当社が特別協賛する「第3回 NAGASEカップ陸上競技大会 (WRkワールドランキング対象・WPA※公認)」(以下、「NAGASE カップ」)が2024年10月12日、13日に国立競技場(東京都新宿区)にて開催されました。

NAGASEカップは、「日本陸連公認の部」と「パラ公認の部」からなる障がいの有無や年齢、国の垣根を超え“誰もが参加できるインクルーシブな大会”です。

第3回となる今回は、障がいを持つアスリート・子どもを含め、過去最多となる1,564名が参加しました。3個の世界記録、7個のアジア記録、16個の日本記録が更新され、過去最多数となるパラ記録が誕生しました。さらに今年は、音だけではなく光刺激により合図するシステムの導入や手話通訳士の手配など、全てのアスリートが安心して競技できる環境づくりに取り組みました。

NAGASEグループは、今後もNAGASE カップを通じて、アスリートの“次”への挑戦を後押しするとともに、観客、競技関係者、ボランティアや地域の皆様が新しい体験や価値観と出会う場をつくることで、多様性を認め合うインクルーシブな輪を上げていくことを目指します。

※ WPA : World Para Athletics(世界パラ陸上競技連盟)

	第1回NAGASEカップ	第2回NAGASEカップ	第3回NAGASEカップ
日時	2022年7月2日(土)、3日(日)	2023年9月2日(土)、3日(日)	2024年10月12日(土)、13日(日)
会場	駒沢オリンピック公園 総合運動場陸上競技場 (東京都世田谷区)	国立競技場 (東京都新宿区)	国立競技場 (東京都新宿区)
全体参加者	293名 うちパラアスリート： 137名	1,424名 うちパラアスリート： 450名	1,564名 うちパラアスリート： 300名
小学生	-	120名 (うち2名車いす)	165名 (うち2名車いす)
観客数	597名	約6,600名	約6,700名
新記録	世界新1、アジア新3、 日本新10	世界新1、アジア新5、 日本新9	世界新3、アジア新7、 日本新16

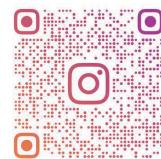
※パラアスリートの参加人数には、聴覚障がい、知的障がいのアスリートを含みます。



義足体験

NAGASEカップ
公式Instagram

https://www.instagram.com/nagasecup_since2022/



NAGASECUP_SINCE2022

会社概要

商号	長瀬産業株式会社 NAGASE & CO., LTD.
創業	1832年(天保3年)6月18日
設立	1917年(大正6年)12月9日
資本金	9,699百万円
主要な事業所	大阪本社、東京本社、名古屋支店、 ナガセバイオインノベーションセンター(兵庫県神戸市)、 ナガセアプリケーションワークショップ(兵庫県尼崎市)

株式の状況

発行済株式の総数 114,908,285株

株主数 28,905名

大株主の状況

株主名	当社への出資状況	
	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	13,611	12.26
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	6,102	5.50
三井住友信託銀行株式会社	4,776	4.30
株式会社三井住友銀行	4,377	3.94
長瀬産業自社株投資会	3,628	3.27
日本生命保険相互会社	3,589	3.23
長瀬令子	3,375	3.04
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	3,158	2.85
株式会社長瀬舜造	2,688	2.42
CGML PB CLIENT ACCOUNT/COLLATERAL	2,072	1.87

※ 持株比率は自己株式(3,904,257株)を控除して計算しております。

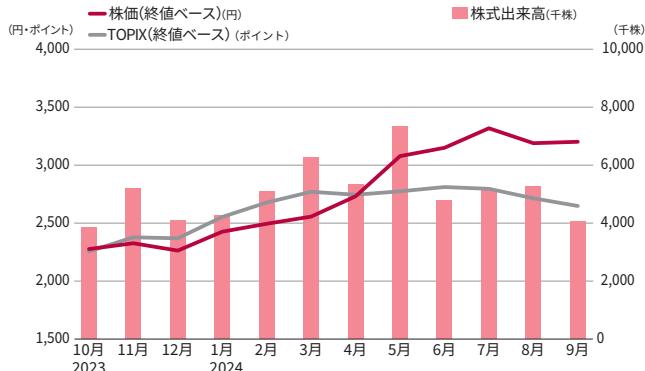
株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、右記の電話照会先にご連絡ください。

特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である右記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、右記の電話照会先をお願いいたします。

株価/出来高の推移 (2023年10月1日~2024年9月30日)



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務取扱場所
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先)

(照会先URL)

公告方法

電子公告の方法により、当社ウェブサイトにて行います。ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

単元株式数

100株

株主に対する特典

毎年3月31日現在の株主名簿に記録された1単元以上を半年間以上保有の株主を対象に、保有期間に応じて、カタログギフトを贈呈。

上場証券取引所

東京証券取引所 プライム市場

本冊子掲載情報の詳細については当社ウェブサイトをご参照ください

<https://www.nagase.co.jp/>

長瀬産業

検索

